



自転車事故に気をつけましょう

原 友紀（保健管理センター
人間総合科学研究科疾患制御医学専攻 講師）

筑波大生の必須アイテム“自転車”。しかし保健管理センターには学内外で自転車事故によるケガをした学生さんが毎日のように訪れます。思わぬ大ケガとなってしまう方も少なくありません。そこで昨年1年間に保健管理センターで診療した自転車事故の学生さんについて調査しました。

学内のどこが危ない？（保健管理センター調べ）

昨年度、自転車事故によるケガで保健管理センターを受診された方は135名でした。

保健管理センターを受診される学生さんには受付で問診票を書いて頂いていますが、昨年度からこの問診票に自転車による外傷の場合、受傷場所を書いて頂く欄を設けました。これをまとめてみますと、やはり、自転車事故が起りやすい場所がありました。

第1学群ループ・保健管理センター～大学会館前の坂・体芸棟前・図書館前・一の矢や平砂の宿舎前・図書館前などです。これらは時間帯により人の往来が集中する場所であること、また坂道やタイル張りなど路面の状態も事故の原因の可能性もあるかもしれません。その他、学外では松見池付近・つくば駅周辺の事故が多くなっています。

いつ？どのように？

月別に受診者数を調べてみますと6月がもっとも



大学会館前のスロープ

多く、ついで9月、10月、12月となりました。まさに今、秋から冬にかけては注意すべき時かもしれません。いわゆる自爆がもっとも多いですが、自転車同士の接触も少なくありません。保健管理センターの診療の範囲では擦過傷（スリキズ）・打撲など軽いケガの方がほとんどでしたが、捻挫・骨折・脱臼・靱帯断裂などの長期の治療や手術が必要なケガの方もいらっしゃいました。

保健管理センターでの調べだけでこのような状況ですから、実際にはもっと多くの学生さんが自転車事故によりケガをされていると考えられます。他の大学からの報告には後遺障害事例を検討したものや頭部外傷に焦点を当てた調査結果などがあります。重症自転車事故では顔面や頭部の外傷が多く、このような危険があることは容易に想像できることですが普段あまり気にしていない人がほとんどではないでしょうか。

今回の調査では、気をつければ防げたのでは？と思われる事故が大半でした。スピードの出し過ぎは危ないとか、自転車が混み合う場所は接触に気をつけるとか誰でもわかっていることなのに、ついやってしまう。

学生の皆様には自転車事故に対する認識を新たに、自分も相手も大きなケガにつながらないように注意して自転車に乗っていただきたいと思います。

おまけ（蛇足かもしれませんが…）

今回はこのような簡単で限定的な調査ですが、さてどの学群の学生に自転車事故が多かったか？見てみました。1位と2位がダントツで1位は工シス（工学システム学類）、2位は体専（体育専門学群）でした。???この結果は意外でしょうか？予想どおりでしょうか？（この2学類は保健管理センターがお好き！？だからでしょうか？）

他の学類の皆様も気をつけて下さいね。



ひとりで悩まず 保健管理センターへ

保健管理センター受付 029(853)2410
学生相談室受付 029(853)2415